

組織

CISPRはIEC（国際電気標準会議）の特別委員会である。
IECの他の専門委員会とは異なり、無線妨害の抑圧に関心を持つ国際機関が構成員となっているほか、ITU-Rなどとの密接な協力体制がとられている。

※ CISPR (Comité International Spécial des Perturbations Radioélectriques)

目的

無線障害を低減するため、様々な機器・設備が発生する無線妨害波に関する許容値と測定法を国際的に定める。

組織

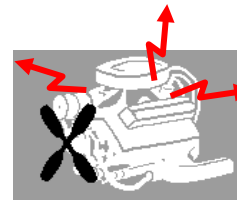


※1 年1回開催

※2 各小委員会には、複数の作業班(WG等)が設置されている

活動

電気器具、エンジンなどの点火システム、工業・科学及び医療の機器など妨害源となる各種の機器について妨害波の許容値及び測定法の検討を行い、国際標準規格として発行。



不要電波の発生

許容値・測定法の
検討・規定

開催状況等

開催年	開催場所等	
2005	ケープタウン (南アフリカ共和国)	合同委員会
2006	ストックホルム (スウェーデン)	合同委員会
2007	シドニー (オーストラリア)	第32回総会
2008	大阪 (日本)	第33回総会
2009	リヨン (フランス)	第34回総会
2010	シアトル (アメリカ)	第35回総会
2011	ソウル (韓国)	第36回総会
2012	バンコク (タイ)	第37回総会
2013	オタワ (カナダ)	第38回総会

※2008年から毎年総会を開催することとなった。

国内体制

情報通信審議会情報通信技術分科会電波利用環境委員会
(主査: 多氣昌生・首都大学東京教授)

国際無線障害特別委員会 (CISPR) の概要 (2)

SC-S 運営委員会

SC-A: 無線妨害波測定及び統計手法

○Working Groups :

WG1: CISPR16-1-1~4 (EMC装置の仕様)

WG2: CISPR16-2-1~4 (EMC測定法、統計的手法及び不確かさ)

○Joint Working Groups :

JWG FAR : Joint Task Force CISPR/A/SC77B on Fully anechoic rooms (FARs)

JWG FFT : Joint Task Force between CISPR/D and CISPR/A - FFT-based emission measurement apparatus - Specification and application

JWG JTF A/F : Joint task force between CISPR/A AND CISPR/F - CDN measurement method of radio frequency disturbances for lighting equipment in the frequency range 30 MHz to 300 MHz

JWG JTF A/I : Joint CISPR/A and CISPR/I Task Forces

JWG UMA: Joint Task Force CISPR/A/SC77B on Uniform measurement arrangement for radiated emission and immunity testing

SC-B 工業用、科学用及び医療用高周波利用設備並びに電力線、高電圧機器及び電気鉄道からの妨害

WG1: CISPR11(工業、科学及び医療用高周波利用設備の妨害波の許容値及び測定法)

WG2: CISPR11(架空送電線、高電圧機器と電気鉄道からの妨害)

SC-D 自動車及び内燃機関に関する妨害及び車載受信機の保護

○Working Groups :

WG1: CISPR12(建物内、道路沿い又は屋外区域で使用される受信機の保護)

WG2: CISPR15(車載及び周辺車両搭載受信機の保護)

○Joint Working Groups :

JWG A-SITE : Establishment of Joint Task Force between CISPR/D and CISPR/A - Chamber validation methods

SC-F 家庭用機器、工具、照明装置及び類似のものEMC

WG1: CISPR14-1、14-2(モーター内蔵家庭用機器及び関連機器)

WG2: CISPR15(照明機器)

SC-H 無線通信業務の保護基準

○Working Groups :

WG1: 共通規格のメンテナンス、IEC61000-6-3、4

WG2: 妨害波許容値の根拠 (名)

WG4: 設置場所測定共通規格(大型ディスプレイの放射妨害波の測定法)

○Joint Working Groups :

JWG JTF/HI : Joint Task Force

○Project Teams :

PT CISPR-34 : An archive of justifications of product limits that exceed generic limits

SC-I IT機器、マルチメディア機器及び受信機のEMC

○Working Groups :

WG1: CISPR13(放送受信機等のエミッション)、CISPR20(放送受信機等のイミュニティ)

WG2: CISPR32(マルチメディア装置のエミッション)

WG3: CISPR22(情報技術装置のエミッション)、CISPR24(情報技術装置のイミュニティ)

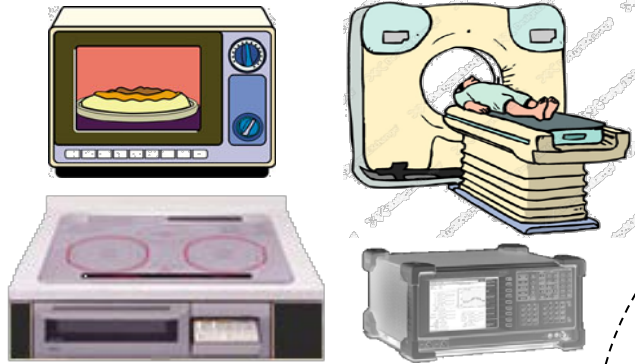
WG4: CISPR35(マルチメディア装置のイミュニティ)

総会

(参考) CISPRの主な対象機器とEMC規格

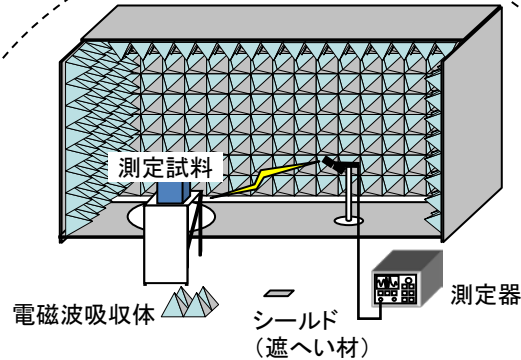
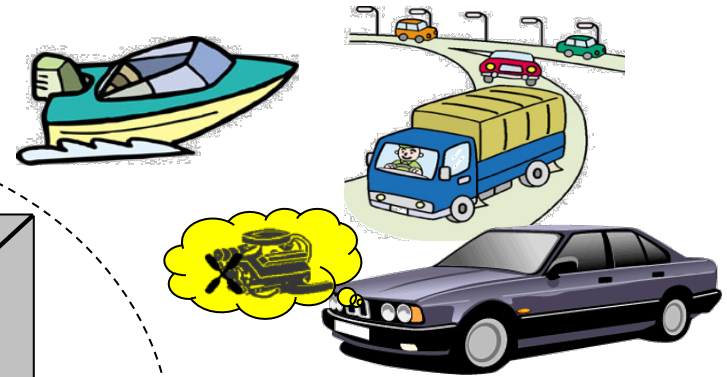
◎工業・科学・医療用高周波装置

: CISPR 11(エミッション規格)

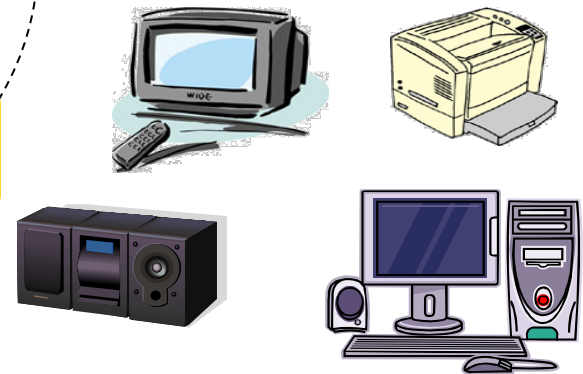
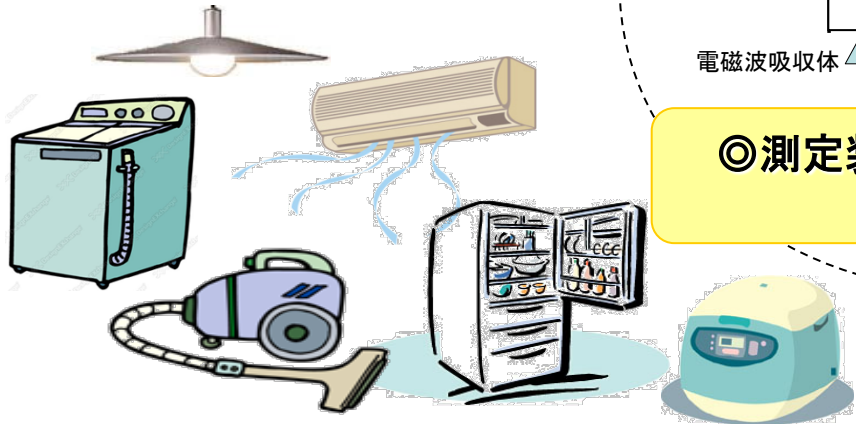


◎自動車、モーターボート及び点火式エンジン

: CISPR 12, 25(エミッション規格)



◎測定装置と測定法の仕様 : CISPR 16



◎家庭用機器・電動工具・類似機器

: CISPR 14-1, 15(エミッション規格)
: CISPR 14-2(イミュニティ規格)

◎情報技術装置関係 及び

音声及びテレビジョン放送受信機並びに関連機器

: CISPR 13, 22(エミッション規格)
: CISPR 20, 24(イミュニティ規格)

(参考) 国際標準機関の連携関係

国際電気標準会議(IEC)

国際無線障害特別委員会(CISPR)

SC-S 運営委員会

※ピンク色は、日本人が幹事を務める又は参加する会合

SC-A 無線妨害波測定及び統計手法

SC-B 工業用、科学用及び医療用高周波利用設備並びに電力線、高電圧機器及び電気鉄道からの妨害

SC-D 自動車及び内燃機関に関する妨害及び車載受信機の保護

SC-F 家庭用機器、工具、照明装置及び類似のものEMC

SC-H 無線通信業務の保護基準

SC-I IT機器、マルチメディア機器及び受信機のEMC

総会

日本の検討結果を提案

・規格(案)等の提案
・新たな規格の発行

総務省

情通審 電波環境委員会

(国内検討、提案文書作成等)

CISPR A作業班 無線妨害波測定及び統計手法

CISPR B作業班 工業用、科学用及び医療用高周波利用設備並びに電力線、高電圧機器及び電気鉄道からの妨害

CISPR D作業班 自動車及び内燃機関に関する妨害及び車載受信機の保護

CISPR F作業班 家庭用機器、工具、照明装置及び類似のものEMC

CISPR H作業班 無線通信業務の保護基準

CISPR I作業班 IT機器、マルチメディア機器及び受信機のEMC

事務局: 総合通信基盤局電波部電波環境課

答
申

関連する国際標準化機関

連携して
検討

- ・国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)
- ・国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)
- ・国際大電力システム会議(CIGRE)
- ・国際鉄道連合(UIC)
- ・国際公共交通連合(UITP)
- ・国際電熱連合(UIE)
- ・国際アマチュア無線連合(IARU)
- ・欧州郵便・電気通信主管庁会議(CEPT)
- ・欧州放送連合(EBU)
- ・欧州電気通信標準化機構(ETSI)
- ・欧州電力事業者連盟(EURELECTRIC)

国内の規格化

総務省所管の法律

- ・電波法
 - ・有線電気通信法
 - ・有線テレビジョン放送法
- 等

総務省所管以外の法律

- ・電気事業法
 - ・電気用品安全法
 - ・薬事法
- 等

民間の規格

- ・一般財団法人VCCI協会
情報技術装置について、VCCI規格を作成
 - ・自動車技術者協会
自動車について、JASO規格を作成
- 等